

Gartner®

IT
SYMPOSIUM | Xpo™

2022年10月31日(月)-11月2日(水) | 東京、日本
gartner.com/jp/symposium

**Meet the
Moment.
Make the Difference.**

モメンタムを捉え、違いを生み出せ

The World's Most Important
Gathering of CIOs and
IT Executives™

松本 良之
ディステイニングイッシュト バイス プレジデント
アドバイザリ/コンファレンス・チェア

Meet the Moment. Make the Difference.

モメンタムを捉え、違いを生み出せ

CIOをはじめとするITリーダーは、混乱期にも成長期にも欠かせない戦略的役割を担っています。今日の組織は、経済の不確実性と地政学的な緊張に直面しています。CIOは、かつてないスピードで変化する世界において、その一瞬を捉え、画期的なテクノロジー、高いパフォーマンスを発揮する人材、協調的なリーダーシップによって、組織を次のレベルへと引き上げるビジョンや結果を提供する必要があります。

Gartner IT Symposium/Xpo™ 2022では、エキスパートや同業者が集うグローバル・コミュニティと共に、革新的かつ変革的な機会を探求することができます。この不確実な環境で、どのようなチャレンジにも立ち向かえるアイデアを見つけ、モメンタムを捉え、今までとの違いを生み出す一助となれば幸いです。



Why Gartner

ガートナーが選ばれる理由

長期戦略の策定を目指す企業であれ、短期イニシアティブの実装を必要とする企業であれ、重要なことは、ミッション・クリティカルな優先課題の解決に必要な正しい知見を得ることです。これは、課題解決策の妥当性を確認するために何を問うべきかを知ることでもあります。ガートナーは、企業による戦略の妥当性確認に加え、情勢判断、戦略評価を支援して、より良い成果を迅速に達成できるようにします。また、企業が取り組みのどの段階にあらうと、ガイド役として成功へと導きます。

本コンファレンスでは、以下の3つのトラックを用意しています。



将来のテクノロジーの方向性に関する知見と専門的なガイダンスを提供する



IT戦略を定義し、その妥当性を確認する



実例を交えながら、主要なイニシアティブの実行方法を探る

コンファレンスで得られる多くのメリット

Gartner IT Symposium/Xpo™ は、CIOやITエグゼクティブが一堂に会して、さまざまな難局に対してアクションを起こし、未来を切り拓く場です。組織の中での自分の影響力を広げ、創造性の限界に挑み、次世代の先見的なテクノロジーやデジタル・イノベーションを探ります。本コンファレンスに参加し、かつては想像もつかなかった大胆なアクションを起こすために必要な知見を見つけてください。



The CIO Experience



CIO Experienceは、未来の働き方を実現し、個人としてのリーダーシップの方向性を転換し、価値と俊敏性を高められるITオペレーティング・モデルにしたいと考えているCIOのために用意されたプログラムです。

CIO Experienceメンバー特典

1. CIO Experienceメンバー限定セッションにご参加いただけます。

双方向型セッション*

- ラウンドテーブル
- ワークショップ
- リサーチ・ディスカッション
- ボードルーム・セッション

*参加対象はユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方です。

スピーカー・セッション

- CIO Experienceゲストスピーカー・セッション

2. ガートナー one-on-oneミーティング優先予約

3. セッション優先予約

CIO Experienceメンバー該当条件

以下の条件に該当するCIOもしくはCIOに相当するITエグゼクティブ・リーダー(企業組織の意思決定者)

- ・ 売上高250億円以上の企業もしくは社内カンパニーのCIO、またはCIOに相当するITエグゼクティブ・リーダー
- ・ 職員数1,000人以上もしくはIT予算250 億円以上の公共部門のCIO、またはCIOに相当するITエグゼクティブ・リーダー
- ・ 売上高250億円以上のITベンダーまたはITコンサルティング会社の社内情報システム部門及び社内情報サービス部門のCIOまたはCIOに相当するITエグゼクティブ・リーダー

お申し込み方法

CIO Experienceへの参加希望を貴社担当営業へお申し付けください。

*参加基準を満たさない場合は、CIO Experienceメンバーとして登録されない場合がございます。予めご了承ください。

Explore future trends in our Signature Series

シグニチャ・シリーズ

Gartner IT Symposium/Xpo™では今最も期待されている知見や調査結果をシグニチャ・シリーズとして発表しています。今後の戦略策定に有益な、ITシンポジウム参加者必見のセッションです。



片山 博之
シニア ディレクター
アナリスト

Gartnerの2023年以降の戦略的展望トップ10: 不確実性を生かす

未来は常に不確かである。しかし、「不確実性は機会をもたらす」という考え方は、ほぼ世界に共通した普遍のものである。そして今はまさに、その機会をつかむときである。本セッションでは、機会をもたらす、あるいはうまく対応しなければ脅威になりかねない、将来の展望トップ10を紹介する。CIO、テクノロジー・リーダー、そしてビジネス・リーダーは、速やかに行動に移しながら、判断をする必要がある。



池田 武史
バイス プレジデント
アナリスト

2023年の戦略的テクノロジーのトップ・トレンド

戦略的テクノロジー・トレンドは、今後5年以内にビジネスに破壊的な影響を及ぼし、イノベーションの土台となるトレンドである。これらがビジネスに与えるインパクトを検証し、その結果に基づいてビジネス・オペレーションに適切に対応することが求められるが、その対応をなおざりにする企業は競争優位性を失いかねない。これらのトレンドは、地球規模の変化によって引き起こされる不確実性に対処するために、ITリーダーが決して無視してはならないものである。



藤原 恒夫
バイス プレジデント
アナリスト

2023年のCIOとテクノロジー・エグゼクティブの アジェンダ:分散とローカライズの時代

この不確実で難題の多い時代に、先進的なCIOは、IT組織の価値提案とテクノロジー部門による価値創出方法を抜本的に見直し、企業内においての自らの位置付けを新たなものにしていく。2023年のCIOとテクノロジー・エグゼクティブのアジェンダでは、非中央集権型/分散型のデリバリー・アプローチを活用し、I&Tの実行上のギャップを解消するために必要なリーダーシップおよびアクションを探求する。



松本 良之
ディステイニングイシュー
バイス プレジデント
アドバイザー

CEOサーベイから見た2022～2023年に CIOが取るべきアクション

GartnerによるグローバルCEOサーベイでは、経営トップの優先課題の変化が明らかになった。調査結果は、ビジネスにおけるテクノロジー活用の方向性が変わること示唆している。重大な事象でビジネス勢力図が再形成され始めた現状を踏まえ、本セッションでは、波及的に発生するCIOへの影響について解説する。



アルバロ・メロ
バイス プレジデント
アドバイザー

人間中心の働き方/人材環境への回帰を飛躍の機会にする

働き方やテクノロジー人材への対応方法は、「人間中心」という原点に立ち戻っている。進歩的なCIOは、働き方を継続的に見直し、市場の変化のスピードに合うように、人材へのアプローチ方法を再度活性化させる必要がある。本セッションでは、最新のトレンドと先進的なプラクティスを紹介する。

Get inspired through our keynotes

ガートナー オープニング基調講演

Make the Difference ～未来を切り開くアクションを起こせ～

今日のCIOは、脱グローバル化や経済的混乱など、過去に例を見ない多様な脅威に直面した世界においてリーダーシップを発揮している。深刻な不確実性とリソースの制約に対処しながら、こうしたリスクをいかにビジネス機会へと転換するかが、エグゼクティブにとっての課題である。CIOとITエグゼクティブは、情報とテクノロジーを最先端の方法で活用することで企業をリードし、他社との違いを生み出せる。Gartner IT Symposium/Xpo™のオープニング基調講演では、最重要と考えられる情報とテクノロジーの活用法に注目する。



藤原 恒夫
バイス プレジデント
アナリスト



矢野 薫
ディレクター
アナリスト



一志 達也
シニア ディレクター
アナリスト

ガートナー クロージング基調講演

明日からの挑戦に向けて

本セッションでは、Gartner IT Symposium/Xpo3日間の主要なメッセージや推奨事項を総括する。今後、皆さまがこれから様々な施策を実践する一助として、本コンファレンスのエッセンスをお届けする。



松本 良之
ディスティングイッシュト バイス プレジデント
アドバイザー



一志 達也
シニア ディレクター
アナリスト



矢野 薫
ディレクター
アナリスト

ゲスト基調講演



マツダ株式会社
社長兼CEO
丸本 明氏

マツダの構造改革への取り組み -人とITの共創による価値創造へ-

マツダは、世界で唯一ロータリーエンジンの量産化技術を実現するなど、ものづくりや独自技術にこだわりのある会社である。自動車業界では比較的小規模で、限られたリソースの中で最も効率の良い開発、生産を追求するため、マツダデジタルイノベーションに早くから投資し、ものづくりのプロセスの効率化を進めてきた。

近年では組織横断型のビジネス構造改革を進め、人の意識が変わり、仕事が変わり、人が成長し、デジタル技術を駆使した変革行動をとれるようになってきた。本講演では、ものづくり企業における人とITの共創による価値創造とビジネス構造改革の進展及び今後の展望を紹介する。

<プロフィール>

慶應義塾大学工学部を卒業し1980年 東洋工業株式会社(現マツダ株式会社)に入社。シャシー設計のエンジニアとして、ブレーキやサスペンションシステムの開発育成に力を注ぐ。1996年から2代目MPVの総責任者である主査を担当。1999年、このMPVを市場に送り出すと共に取締役役に就任。以降、欧州事務所にて欧州開発・生産を、帰国後は商品企画、その後、経営企画、財務、コスト革新など幅広い領域を担当し、マツダがフォード傘下で商品主導の成長を開始した時代からリーマンショックの苦境を経て、独自のSKYACTIV技術で成長路線に踏み出すまでの大きな転換期を経営陣の一員として牽引してきた。2013年 に副社長に就任し、社長を補佐すると共に、米州事業や企画領域を統括。2018年に16代目社長兼CEOに就任。2020年に創立100周年を迎えたマツダを次の100年に向けて持続、発展させることが自らの責務であるとし「人と共に創るマツダの独自性」をキーワードに掲げる。広島県呉市出身。65歳。



SAPジャパン株式会社
代表取締役社長
鈴木 洋史氏

トップライン、ボトムライン、グリーンライン。 3つの経営目標を達成するための統合DX戦略

今日の経営に求められる3つの目標、成長、利益、そしてサステナビリティについて、皆様がいニシアタイプを発揮し、推進するための統合戦略とSAPの取り組みをご紹介します。

<プロフィール>

1990年4月に日本アイ・ビー・エム株式会社へ入社後、主に小売業・製造業向けSCM関連ソリューションの企画・販売・マーケティングを担当し、2000年8月にi2テクノロジーズ・ジャパン株式会社へ入社、アライアンスセールス・エグゼクティブ、セールス・ディレクター等の要職を歴任しました。

2006年7月にJDAソフトウェア・ジャパン株式会社へ入社し、営業本部長を経て2010年2月より同社代表取締役社長に就任。2012年5月からはJDA Software Inc.のアジアパシフィック地域副社長を務め、日本を含むアジアパシフィック地域を統括しました。2013年4月に日本アイ・ビー・エム株式会社へ入社、理事・スマーター・コマース事業担当として同社の成長戦略を指揮しました。

2015年1月にSAPジャパン株式会社へバイスプレジデント・コンシューマー産業統括本部長として入社、2018年1月より常務執行役員 インダストリー事業担当として、日本市場における全産業・大手企業向けビジネス全体を管轄し、日本企業のデジタル変革支援にフォーカスしてきました。2020年4月1日に代表取締役社長に就任し、SAPジャパンのビジネス全体を統括しています。



SPACETAINMENT PTE. LTD.
Co-Founder and CEO
神原 華帆氏

近日公開

<プロフィール>

東京大学工学部機械工学科を卒業後、三菱商事株式会社にてDX事業開発に従事。2021年に「宇宙×エンターテインメント」を掲げ当社を創業。東大入学前は大手芸能事務所にて中川翔子のバックダンサー等を経験。在学中は留学先のカリフォルニア大学Davis校にて航空宇宙工学を学んだ他、SHOWROOM株式会社にてライブ配信プラットフォームのBizDev業務に従事。

エグゼクティブ・インサイト



株式会社アシックス
常務執行役員デジタル統括部長
CDO・CIO
富永 満之 氏

アシックスのデジタルドリブンカンパニーへの変革の取り組み

2020年発表のVISION2030において、共通テーマに「デジタル」を据え、翌年発表の中期経営計画2023の中では、戦略目標に「デジタルを軸にした経営への転換」を掲げ、全社一丸となってデジタルを意識した取り組みを行なっています。特に、過去ホールセールを中心に事業成長・拡大をしてきましたが、近年のデジタル技術の進化に伴い、弊社ではデータを活用したランナーへの理解、パーソナライズされたサービスの提供、シューズ開発の実現のため、直接顧客と接点を持てるDTCチャンネルをグローバルで強化し、同時にこのような取り組みを通じて利益向上を目指しています。本講演では、過去から現在、そしてこれからの取り組みを、ランニングエコシステム、グローバルプラットフォーム、グローバル組織体制を中心に紹介します。

<プロフィール>

30年以上のキャリアにおいて、日本アイ・ビー・エム株式会社の執行役員を始めとする日米IT企業での要職歴任を経て、2018年にCIOとして株式会社アシックスへ入社。2019年からCDOを兼任し、現在はボストンにあるデジタル拠点・ASICS DigitalのCEOも務める。アシックスのデジタル戦略の実行を通じて、自社の企業価値創造を推進。

CIO Experienceゲストスピーカー・セッション



フューチャーアーキテクト株式会社
代表取締役社長

フューチャー株式会社
取締役 ITコンサルティング事業担当
神宮 由紀 氏

DX人材を生み出す組織～個性を活かし挑戦するカルチャーの醸成

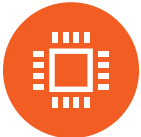
コロナ禍によって様々な社会課題が浮き彫りとなり、日本企業にも変革が迫られています。未来を切り拓く鍵として技術革新をベースとしたDXが期待され本格的な投資も加速する一方、人材は不足しています。企業が成長するためには多様な人材の確保と育成、社員一人ひとりが個性を活かし活躍できる土壌づくりが不可欠です。自身の介護離職の経験からフレキシブルな働き方の重要性を示唆するとともに、社員に変革と成長を促すことで自ら学び挑戦し続けるカルチャーを醸成し、キャリアを自律的に実現できる仕組みについて紹介します。

<プロフィール>

1998年フューチャーシステムコンサルティング(現フューチャー)入社。ITコンサルタントとして流通サービス業を中心に数多くのプロジェクトに携わる。2012年に介護のため退社、日本マイクロソフトを経て2017年に再入社。2019年より現職。介護離職の経験から女性に限らず従業員の誰もが自身の理想のキャリアを選択し活躍できるよう、ロケーションフリーでの地域採用を積極化する等、多様な働き方ができる環境づくりを推進している。

An agenda for your priorities

14の主要領域の最新リサーチを提供します。



アーキテクチャ／プラットフォーム／ ソフトウェア・エンジニアリング

デジタル・ビジネス戦略を推進するアプリケーションとプラットフォームの設計、構築、運用の方法を探ります。また、コンポーザブル・テクノロジー、アジャイル、DevOpsなどを取り入れて、レガシー・システムを近代化させ、ソフトウェア・エンジニアリング・プラクティスを加速させる方法を提言します。



クラウド／インフラストラクチャ／オペレーション

クラウド・ビジネスモデルを最適化し、エッジ・コンピューティング／マルチクラウドを活用することで、インフラストラクチャとオペレーションを進化させ、極めて高いアジリティ、自律性、場所を問わないオペレーションを促進する方法を解説します。



カスタマー・エクスペリエンス／市民エクスペリエンス

顧客や人々にとってサステナブル(持続可能)な差別化要因になる卓越したデジタル・エクスペリエンスを構築する方法をご紹介します。また、従業員エクスペリエンス戦略と結び付けることによってトータル・エクスペリエンスの成果を達成する方法を探ります。



サイバーセキュリティとリスク・マネジメント

サイバーセキュリティをビジネス上の問題として捉え直し、デジタル世界の急速な変化と不安定な地政学的状況によって生じるディスラプションに対応してリスク・マネジメントに取り組む方法を解説します。また、コンポーザブルなトラストとレジリエンスを実現できるように、テクノロジーを見直す方法を提言します。

An agenda for your priorities



データ／アナリティクス／AI

人工知能(AI)やデータ／アナリティクスなどのゲーム・チェンジャーとなるテクノロジーを活用することで、イノベーション、成長、効率性を大幅に促進し、前例のないレベルの不確実性に対し、予測し対応する方法を解説します。また、セルフサービスおよびパーベイシブ(偏在的)なビジネス・アナリティクスを志向するデータ中心の組織文化へと移行する方法をご紹介します。



デジタル・ビジネス・アクセラレーション

デジタル・ビジネス戦略を構築、拡張、洗練、加速させる方法や、業界力学を変えるようなプロダクト／ビジネスモデルの新しい創出方法へとシフトする方法を探ります。



経営幹部のリーダーシップ

CIOの役割の進化を積極的に受け入れ、ステークホルダーに影響を与え、変革を起こすリーダーになる方法を明らかにします。ディスラプションの到来を予測して準備し、管理するためのコンピテンシを身に付ける必要があります。世代や地域を超えた多様なチームで高いパフォーマンスを発揮する方法をご紹介します。



働き方の未来

新たな働き方で成功を取めることができるように、デジタル・ワークスペース戦略／フレームワーク／モデル、人間とAIが融合した人材のあり方、人中心の組織について探求します。



イノベーションとディスラプション

デジタルの目標を達成するために、先進テクノロジーとシナリオ・プランニングを活用しながら、イノベーションを推進し、ディスラプションを利用する方法を解説します。

An agenda for your priorities



ITへの投資とITの価値

最大のビジネス価値をもたらす投資の優先順位付けに役立つ新しい資金提供モデルやコスト／財務管理フレームワークを明らかにします。



オペレーティング・モデル

オペレーティング・モデルを企業／情報／テクノロジー戦略と整合させる方法に加えて、現在の環境により適した新しいオペレーティング・モデルの採用について探ります。



戦略的プランニングと実行

組織のレジリエンスを高め、成功へと位置付ける動的な戦略を策定し、実行に移す方法を提言します。



サステナブル・ビジネスとESG

サステナブル(持続可能)なテクノロジーへの投資とESG(環境、社会、ガバナンス)データについて、品質向上、規模拡大、優先順位付けを行い、企業の新たな成長機会の追求、コストの最適化、リスクの軽減に役立たせる方法をご紹介します。



人材／組織文化／DEI

多様な人材を獲得して定着させるとともに、既存の従業員のスキル向上／新スキル取得を図って、価値とビジネス成果を高める方法を提言します。また、ゲーム・チェンジャーとなるビジネス能力の継続的な探求と追求を奨励するような組織文化を醸成する方法や、モチベーションとエンゲージメントを高める基本要因として、DEI(ダイバーシティ[多様性]、エクイティ[公平性]、インクルージョン[包摂性])を育む方法を解説します。

Lean back and listen

ゆっくりと傾聴する



ガートナーのエキスパート、各業界のリーダー、ソリューション・プロバイダーが、CIOや企業のリーダーの優先課題に沿ったセッションを提供します。

ガートナー基調講演

ビジネスが置かれている環境を大局的に捉え、そこから導き出した知見をご紹介します。

シグニチャ・シリーズ

CIOアジェンダ、CEOサーベイ、戦略的テクノロジー・トレンドなど最も期待されている知見や調査結果を紹介し、企業がこれからの1年に備えられるようにします。

トラック・セッション

ITシンポジウムの柱となるセッションです。ガートナーのエキスパートが、ビジネスやITの現状を伝え、企業が翌週、90日後、そして来年に向けて実行すべきアクションを提言します。

Maverickセッション

ガートナーのMaverickリサーチに基づくセッションです。現在の「快適なやり方」から脱して代替のシナリオを検討し、将来の機会とリスクを描けるようにします。

コンサルティング・クリニック+

ガートナーのコンサルタントがよりオープンに、より深くマーケット・トレンドや実践的な事例を紹介します。

ゲスト基調講演／エグゼクティブ・インサイト／CIO Experienceゲストスピーカー・セッション

最前線で活躍しているゲストや先見的なリーダーなどの経験からインスピレーションを得て、ビジネスやリーダーシップについての自身の考え方を見つめ直すことができます。

ソリューション・プロバイダー・セッション

業界トレンドや各社の戦略的ロードマップ、事例など、課題解決に直結するヒントを紹介します。

Lean in and engage

積極的に参加する

エキスパートがファシリテーターを務め、参加者同士で問題解決や意見交換を図る双方向型のセッションです。

Ask the Expert

参加者とエキスパートによるQ&Aセッションです。トピックに関する様々な質問にエキスパートが直接回答します。

契約交渉クリニック

交渉にはコツがあります。本クリニックでは、さまざまなベンダー企業と、自社にとって最適な契約を締結できるよう交渉する方法を学ぶことができます。

リサーチ・ディスカッション

ガートナーのエキスパートと参加者同士でデジタル・ビジネスの取り組みやリーダーシップなど特定のテーマについて議論を行うセッションです。

ワークショップ

ガートナーのエキスパートと参加者が交流しながら、最も重要なトピックについて話し合い、その結果を自社のビジネスに取り入れられるようにします。

ラウンドテーブル

ガートナーのエキスパートがファシリテーターを務め、同業者の視点やベスト・プラクティスに焦点を当てるセッションです。参加者の経験から学び、知見を共有できます。

ボードルーム・セッション

ソリューション・プロバイダーのエグゼクティブがファシリテーターを務め、ミッション・クリティカルな優先課題や他社事例のベスト・プラクティスなどに関して意見交換を行います。

エキスパートとの個別ミーティング

ガートナーone-on-oneミーティング

個別の課題に対して、ガートナーのエキスパートが直接回答する「1対1」型30分間の個別ミーティングです。

コンサルティング・クリニック

お客様の特定課題に対し、ガートナーのコンサルタントが実践的なアドバイスを行う個別セッションです。

出展社one-on-oneミーティング

テクノロジー・スペシャリストやソリューションの専門家との個別ミーティングは、課題解決へのヒントが満載です。



Discover the latest technology



IT Xpo

革新的ソリューションが多数展示されるIT Xpoでは、貴社のビジネスに最大の価値をもたらすテクノロジーを効率よく比較、検討いただけます。課題を解決に導くベスト・ソリューションを会場で見つけてください。また、会場内では、シアター・セッションやイベントも開催されます。

オープンシアター・セッション

IT Xpo会場で実施する1回15-20分のショート・セッションです。次のトレンドとなるソリューションや注目の最新情報を提供します。

ガートナーについて

ガートナーは、経営幹部およびそのチームに対し、実行可能かつ客観的な知見を提供しています。ガートナーの深い専門知識によるガイダンスやツールは、組織のミッション・クリティカルなビジネス課題についてより迅速でスマートな意思決定を下し、より大きな成果を獲得することを可能にします。

Gartner®

IT

SYMPOSIUM | Xpo™

開催概要

名称: Gartner IT Symposium/Xpo™
会期: 2022年10月31日(月)-11月2日(水)
会場: グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール
主催: ガートナー ジャパン株式会社

参加料金(1名様)

- 早期割引価格: 246,400円 (税抜価格 224,000円)
9月30日(金)まで
- 通常価格: 279,400円 (税抜価格 254,000円)

グループで参加することにより、学習効果を高め、ビジョンを共有することができます。

グループ登録割引*

4名様有償登録で、追加で1名様無償にてご登録いただけます。
8名様有償登録で、追加で2名様無償にてご登録いただけます。
12名様有償登録で、追加で3名様無償にてご登録いただけます。

*同じ企業の方々に限ります。グループでの参加登録は、貴社担当営業か、コンファレンス登録事務局へお申し付けください。

参加対象者

- CIO、CEO、CFOをはじめ、企業のIT戦略や投資に関わる経営者
- IT部門の責任者、IT投資・導入に関わるすべての意思決定者
- CSO、CISO、セキュリティ・リーダー
- CDO、CAO、アナリティクス・リーダー
- アプリケーション・リーダー、CXリーダー
- ITインフラ&オペレーション・リーダー
- 経営企画/事業企画部門の方々
- 研究・技術開発部門の方々
- ITプロバイダーのマーケティング・戦略立案部門担当者
- ビジネス・プロフェッショナル

本コンファレンスはCPE(継続教育)ポイントの付与対象イベントです。

- ISACA(情報システムコントロール協会)受講証明

お申し込み方法

gartner.com/jp/symposium から
お申し込みください。
もしくは、貴社担当営業へお申し付けください。



藤原 恒夫
バイス プレジデント
アナリスト

お問い合わせ

ガートナー ジャパン株式会社 | ガートナー コンファレンス登録事務局
TEL: 03-6430-1810 | Email: Japan.Conferences@gartner.com

© 2022 Gartner, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.